

# 埼玉県防災学習センターにおける展示ブースの企画・設計・設営

長谷川研究室  
01312047 小松 春樹

## 1. はじめに

埼玉県防災学習センターは、災害に強い地域づくりを目的として設立された体験型学習施設である<sup>1)</sup>。この度、本学の卒業研究で制作した防災学習教材の提供と併せ、これらを活用するための展示ブースを企画・設計・設営する機会を得た。本報告はこの展示ブースについて、そのコンセプトから設営までの一連の工程をまとめたものである。

## 2. 展示コンセプトと企画・設計

本施設には、災害情報を伝言する学習スペースが付設されている。今では時代環境に相応しないことから、現在は未使用スペースとなっている。今回、このスペースを含む1階の約50m<sup>2</sup>を新たに展示ブースとして改装した。改装前の未使用スペースの状況を写真1A)～C)に示す。

展示ブースの企画・設計にあたっては、以下のコンセプトを設けた。

- ①防災学習教材の展示にあたり、できるだけ既存ブースの再利用を図る（リユース）。
- ②防災学習教材の活用にあたり、利用者が楽しんで学習できる環境を提供する（ラーニング・コア）。
- ③防災学習教材の提供にあたり、本学の地域貢献が見える形にする（プレゼンス）。

まず、コンセプト①（リユース）に関しては、既存ブースを教材の保管場所とし、ブース正面には教材説明用の展示パネルを設置する。教材を出し入れしやすいようにロール式パネルを採用し、耐震デモ模型、液状化模型などを展示して活用を図る。

コンセプト②（ラーニング・コア）に関しては、展示ブース前のオープンスペースを利用し、教材をブースから引き出して、その場で実演・体験できる「学習の広場」の構想を展開する。

コンセプト③（プレゼンス）に関しては、教材の提供に際して地域貢献が見える化するため、記者会

見でよく見られる市松模様を採用し、本学のロゴを含めたオリジナルデザインを考案する。以上のコンセプトに基づいた完成イメージを、スケッチと模型で写真2A)～C)に示す。

## 3. 設営方法と工程

ロール式パネルの設営工程を写真3①～③で示す。既存ブースの内壁にロールスクリーンの取り付け金具の位置を調整して金具を固定する。展示パネルをロールスクリーンに貼る際、汚れ防止として養生テープを貼り、接着剤を吹き付け、布とパネルの間に空気が入らないよう仕上げる。ブースにロール式パネルを取り付けた後、可動検査を行って調整する。

オリジナルデザインとして考案した、市松模様パネルの設営工程を写真3④～⑥で示す。展示ブース壁面の寸法に合わせてスチレンボード3mmを加工し、内装用強力両面テープで、展示ブース壁面に貼り付ける。接着剤が散乱しないよう養生シートで囲い、スチレンボード3mmに吹き付ける。乾燥しないうちに、あらかじめ用意した市松模様のオリジナルデザインプリントを繰り返し貼り付けていく。

最後に、完成後の展示ブースの状況を写真4に示す。また、新たに構想したラーニング・コア「学習の広場」の活用状況を写真5に示す。

## 4. まとめ

埼玉県防災学習センターにおいて、防災学習教材の提供とその活用を目的とした展示ブースの企画・設計・設営を行った。これには、ラーニング・コアと称する「学習の広場」の構想を含めた。これより、体験型学習施設としての一層の充実と、防災教育に対する地域貢献が図られたものと考えられる。

### 【謝辞】

卒業制作に際し、埼玉県防災学習センターの進藤博文所長、吉田剛企画推進グループ長、富山加代子企画推進担当の各氏にご協力を賜りました。ここに記して深く感謝します。

### 【参考文献】

- 1) 埼玉県防災学習センターHP: <http://saitamabousai.jp/>



写真 1：改装前の展示スペース

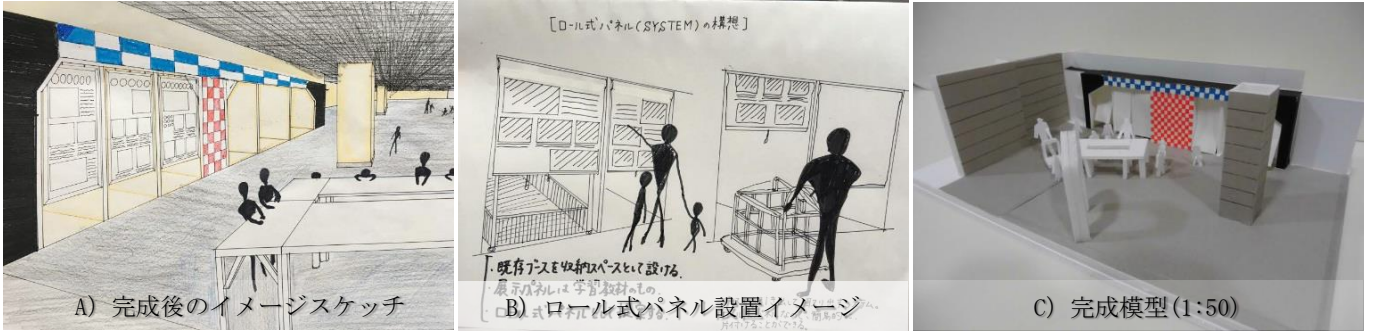


写真 2：改装後の完成イメージ



写真 3：展示ブースの設営工程



写真 4：完成後の展示ブース



写真 5：ラーニング・コアの活用状況